

基礎から考える音サイン環境



サインの中には音によるものも多くみられます。どちらを向いていても情報を得ることができ、視覚障害者にとっては特に有効なサインですが、「聞こえにくい」、「多すぎて分かりにくい（間違える）」、「取り付け方が適切ではない」、「意味に対して音の印象がそぐわない」といった問題があります。今生じている問題、これから生じるであろう問題を、ユニバーサルデザインの考え方に照らしながら議論したいと思います。

日時 2016 年 2 月 20 日(土) 14:00-17:30 (受付は 13:30 より)

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス イノベーションホール (南校地 12 号館 4 階)
921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1

http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html

申込 下記 web よりお申し込みください。

<http://kokucheese.com/event/index/361881/>

席は十分余裕がありますが、準備の都合上 **【2/13(土)】** までにお申し込みください。情報補償については、1 月末日までにご相談ください。

参加費 主催学会会員：無料 後援学会会員：500 円 一般：1000 円 学生：無料

定員 50 名 (事前申し込み順)

定員まで余裕がありますので、**2/18** まで〆切を延長いたします！ (2/13)

プログラム

司会 安部信行 (八戸工大)

記録 北川博巳、大森清博 (兵庫県立福祉のまちづくり研究所)

主旨説明

田中直人 (島根大)

音サインの 5 原則

土田義郎 (金沢工大)

音マップアプリを用いたバリアフリー教育と音サインデータベースの構築

上田麻理 (航空環境センター)

音サインの聞き取りやすさについて

岩田三千子 (摂南大)

音の回折を利用したサイン音の検討

坂口弘樹・齋藤鉄馬・土田義郎 (金沢工大)

質疑応答+討論

コーディネータ：田中直人 (前出)

主催：日本福祉のまちづくり学会 サイン環境特別研究委員会

共催：日本福祉のまちづくり学会 東海北陸支部

後援：日本音響学会、日本音響学会北陸支部、日本建築学会北陸支部、日本サウンドスケープ協会